

あなたは大丈夫ですか？

昔の病気ではありません
女子に梅毒が急増中！！



コンドームの適切な使用によりリスクを減らすことができます。



梅毒は早期に発見することで、適切な治療により治癒が可能です。

症状があるときや、不安なときは早めに近くの医療機関や
お住まいの自治体の検査を受けましょう。

妊娠中の方は妊娠時期を問わず
検査をおすすめします

梅毒に感染しているひとが妊娠すると、早産や死産になったり、胎児の重篤な異常をきたすことがあります。

🔍 大阪市 HIV/エイズ・性感染症ガイド



大阪市保健所感染症対策課 ☎06-6647-0656

令和7年1月作成

感染・症状

梅毒ってどんな病気？

性行為等によって感染する**性感染症**の1つで、梅毒トレポネーマという細菌が粘膜や皮膚の傷口から体内に入ることによって感染します。口内炎のような症状が出ることもあり、**キスやオーラルセックス（口腔性交）でも感染**します。



コンドームの使用は、完全に予防することはできませんが、感染のリスクを低くできると言われています。

陰部に潰瘍ができたりリンパ節の腫れ、バラ疹という赤い湿疹が手のひらや体全体にみられるといった症状がありますが、無症状でも感染している場合もあります。



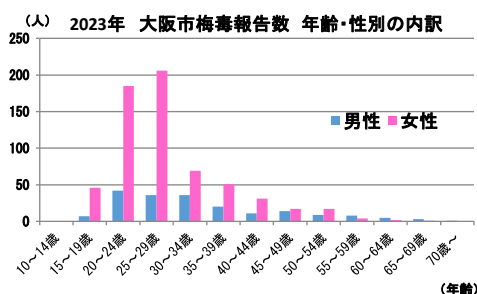
母子感染

赤ちゃんにもうつります

妊婦が感染していると胎盤を通して、赤ちゃんに感染し、様々な症状や障がいをおこすことがあります。（**先天梅毒**）

大阪市でも毎年発生しています。

妊婦健診で検査をしますが、妊娠中も感染予防が必要です。



治療

梅毒は治りますが何度も感染します

抗生物質（ペニシリン）を服用することで完治しますが、発見が遅れると治療期間が長くなることもあるため、早く見つけて早く治療を受けることが大切です。

治療後も適切な予防策（コンドームの使用、パートナーの治療など）がとられていなければ、再び感染する可能性があります。

男性は性病科・泌尿器科・皮膚科、女性は性病科・婦人科・皮膚科への受診をお勧めします。



検査

梅毒の感染はどうやって調べるの？

血液検査でわかります。

大阪市ではHIV検査と一緒に梅毒の検査を受けることができます。

すでに症状が出ている場合は、医療機関を受診しましょう。



検査・相談などの情報は、大阪市のホームページ、関係リンクをご覧ください。

またXでは最新情報をお届けしています！

検査▶



相談▶



X▶



関連リンク▶

